

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	◎	－	－
	○	衣料品専門店（経営者）	・例年8月、9月は初秋ものが売れるが、今年は残暑が厳しく、長引く見込みであり、業況は厳しいのではないかとみられる。
	○	タクシー運転手	・秋の行楽シーズン等が始まり、気温が通常に戻れば人の動きも良くなるとみられる。また、豪華客船等の寄港もあり、人の動きは昼間は良くなり、夜の飲食業も多少良くなると予想される。
	○	タクシー運転手	・今年は四国遍路が逆打ちの年であり、春は仕事が多かったが、秋もそれなりに仕事があるとみられる。四国遍路にタクシーが出ていくため、街もそこそこ忙しくなるとみられる。
	○	通信会社（営業担当）	・来客数は増加傾向だが節約志向は強い。一方で新商品発売や年末商戦なども期待されるため景気は良くなる見込みである。
	○	競艇場（マネージャー）	・円高基調により、物価が安定し、遊興に回せる余裕資金も回復していくとみられる。
	□	商店街（常務理事）	・このところ、自然災害の発生に目が向くことが多くなり、消費の一部が防災関連商品に流れている。物価高騰に対する生活防衛もあり、しばらくは不要不急の消費が控えられるかもしれないとみられる。
	□	商店街（代表者）	・経営者は最低賃金の上げ等の人件費増加に対して懸念を抱いており、金利アップも迫っていることから、また、消費者にとっても物価高であることから、マインドを押しあげるには至らないとみられる。
	□	商店街（代表者）	・仕入価格の高騰が想像以上に厳しく、現行の価格設定では利益が取りにくくなっている。電気代の高騰は政府による補助金により一時的に助かっているが不安要因になっている。
	□	百貨店（販売促進）	・購買意欲が向上する要因が見当たらない。
	□	百貨店（マネージャー）	・株価や円の動向の先行きが不透明である。
	□	スーパー（店長）	・値上げが続いており、買い控えが懸念される。
	□	スーパー（店長）	・今の備蓄需要は一時的なもので徐々に平常に戻っていくとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	・近年、気温の影響により季節品の売行きが左右されたり、為替の変動による相場の高騰などがあり、まだまだ先行きが見通せない状況である。
	□	スーパー（企画担当）	・単価の上昇、非常用食料の買いだめなどの情報が発信されると売上に大きく影響が出る。この状況が落ち着くまでにはかなりの時間が必要となるため、売上増加は継続すると推定される。
	□	スーパー（統括担当）	・来客数の増加が一時的なものか否か、しばらく様子を見ておく必要がある。物価高が定着しているため、短期的には回復は難しいとみられる。
	□	スーパー（人事）	・引き続き、防災備品は売れ、マイナス要因もなく推移していくとみられる。
	□	コンビニ（店長）	・商品価格の上昇が続いているため、所得が増えない限り、しばらくは生活防衛により消費はついてこないとみられる。
	□	コンビニ（総務）	・来客数の減少傾向は続いているため、今回の来客数の伸長は一時的なものとみられる。
	□	コンビニ（商品担当）	・インバウンド需要がない地域に関しては、盛夏期の売上も特に影響がなかったため、今後円安、株価などの状況が特に変わらなければ、景気も横ばいだと考えられる。
□	衣料品専門店（経営者）	・一部の業種を除いて中小企業の景気はこのまま良くなるとみられる。	
□	衣料品専門店（経営者）	・賃金と物価高のバランスがどちらに傾くかで今後どうなるかわからない。	
□	衣料品専門店（営業責任者）	・暑さや台風などのメディア報道の影響が大きく、来客が促進できない状況が続いている。物価上昇により、嗜好品である服飾へ使える割合が少なくなっていることを強く感じており、特に地震や台風の影響で生活防衛の意識が高まっていることから、消費が悪化していると感じている。	

	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・必要な物だけを買うという傾向が今後も続くと思われる。
	<input type="checkbox"/>	家電量販店（副店長）	・今後販売状況が良くなっていくとは見受けられない。客の状況も他店を回遊したり、修理件数も増加傾向になっている。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売業（営業担当）	・長納期化と販売車種が限られる状況が解消される見込みがない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・車種が限られており、販売につながらない。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	・メーカーの生産調整もあり、販売量にも大きな変化がない。
	<input type="checkbox"/>	その他専門店〔酒〕（経営者）	・現在はお中元時期が終わり、落ち着いている。3か月後には祭り等があるが、今より景気が良くなることはなく、変わらないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（館長）	・入館者数、来客数、客単価が前年より順調に伸びている。前年の全国旅行支援による売上増加の反動減が11月から計上される見込みだったが、ある程度吸収できるのではないかとみられる。
	<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・既に悪い状況にあり、変わらないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（支店長）	・来客数も伸びてはならず、年末年始までは現状が続くと想定される。
	<input type="checkbox"/>	観光遊園地（主幹）	・特に大きな状況変化が見込まれず、現状が続くとみられる。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・特に変化がないとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・今年は各メーカーからの急な値上げの通知が、早くなっている。我々販売店は品薄をなくすため、今まで以上に在庫を多くとる必要があるため、資金繰りが厳しくなっており、メーカーと話し合いの場を設けたいが拒否されている。2～3か月先も同じ状況が続くとみられ、大変な時代になったと感じている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	一般小売店〔生花〕（経営者）	・暑さで植物の出来が悪いのに加えて農家のコストの高騰のため、市場の入荷量が減っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（財務担当）	・晴れの日であるお盆商戦も終わり、今からは平常となり節約志向に戻っていくとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・節約モードが続くと考えている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・南海トラフ地震臨時情報による風評被害はかなり大きなものがあり、国内の旅行消費マインドを低下させるとともに、自国内ではほとんど地震遭遇経験のない韓国人観光客の需要減少の可能性が見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	・今後も気温が高い予想に加え、選挙などで動きが鈍る可能性が高いとみられる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・毎年9月から11月は売上が減少する時期であり、この時期は12月から2月のイベントの準備をしっかりと行っていきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・民間の建築確認機関では住宅の申請件数が非常に減っていると聞いており、それにより消費財等の需要も少し落ちると予想される。
	<input type="checkbox"/>	一般小売店〔酒〕（経営者）	・南海トラフ地震臨時情報の発表や、自然災害が多いなか、今後の生活には不安要素ばかりであり、景気が良くなるわけがない。
企業動向 関連	<input checked="" type="checkbox"/>	食料品製造業（商品統括）	・金利のある政策に復帰し、正常な経済へ進みだしている。多少の混乱はあると考えるが、着実に進んでいくと確信している。
(四国)	<input type="checkbox"/>	繊維工業（経営者）	・新型コロナウイルス感染症発生前のタオルの需要は贈答品への返礼ギフト、イベントでの記念品需要が中心であったが、ここ数年、それらの分野での需要が減少している。そのため、全般的にギフト卸業者、別注業者との取引メーカーはその影響を受けているが、生産地全てが悪いということではなく、今後もメーカーの売り先によって好不況があるとみられる。
	<input type="checkbox"/>	木材木製品製造業（営業部長）	・下期から受注回復の兆しがあり、秋の受注に期待して生産体制の強化を図っていく予定である。

	○	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルス感染症の感染状況は収束したが、マスクの需要は高まり案件が増えている。ウェットクリーナーの需要もあるが、競合他社が多く、需要が供給を上回っている。
	○	輸送業（経営者）	・総裁選が予定されており、これからへの期待は大きいですが、年配者が前面に出ると期待感が下がる気がしている。
	□	食料品製造業（経営者）	・引き続き、原材料、資材の値上がりがあり、製品価格に転嫁できず、利益が圧迫されるとみられる。製品価格への転嫁も考えているが、販売数量が下がると同時に製造の稼働率も下がり、全体の原価が上がることを懸念している。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・年初より鑄鋼品以外の受注は低調に推移している。
	□	一般機械器具製造業（経理担当）	・世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行きの不透明感に加え、地政学的リスクの高まり、物価上昇や人件費を始めとしたコスト増加等もあり、世界経済の下振れが懸念される。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・経営者、事業者のマインドが下がっているように感じており、当社としては営業努力をするつもりであるが、他社の例をみると余り良くならないとみられる。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・急激な円高・株安も一時的なものとなり、相変わらずの物価高、円安基調、円金利上昇等の経済環境の傾向は変わっていないとみられる。
	□	建設業（経営者）	・資材価格の高止まり、政治の不安定、人手不足等の影響がみられる。
	□	建設業（経営者）	・官民工事共にいい情報が少ない。
	□	通信会社（総務担当）	・地域のイベントに企業連で参加し、前年よりも見物客も多くにぎやかだったが、イベント期間終了後は、以前と同じように閑散とした街に戻っており、一時的なものであったとみられる。
	□	通信業（企画・売上管理）	・8月が予想していたよりも好調だったため、希望的観測も含め2～3か月先に同等程度の景気を見込みたい。
	□	広告代理店（経営者）	・旅行・ホテル等の観光関連の人手不足に伴う採用関連は増加が見込まれるが、多くの客先の広告費削減傾向は続く見込みであり、全体としては変わらないと予想される。
	□	税理士事務所	・大きく変動する要因が考えられない。
	▲	農林水産業（職員）	・台風10号が日本列島を縦断する予報であり、少なからず広範囲で農産物の生産に影響を及ぼすことが想定される。その被害の程度にもよるが、農産物の供給減少は避けられそうにないとみられる。
	▲	金融業（副支店長）	・物価上昇に対して、給与の引上げ幅は相対的に少ないとみられる。
	×	—	—
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（経営者）	・年末に向けてのアルバイト募集の増加が予想される。
	□	職業安定所（求人開発）	・管内の事業所からは、円高になれば原材料費が安くなる可能性があるため良い兆しだと捉える声がある一方、比較的大きな企業からは、急激な円高を不安視する声を聞いている。また、10月の最低賃金引上げについて懸念する声も多く、景況としては一進一退の状況が続くとみられる。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・職種によって差異があるが、求人数は一定のところでは落ち着いており、数か月単位では大きな変化はないとみられる。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・人手不足感、企業の採用意欲は変わらないとみられる。
	▲	人材派遣会社（総務部長）	・最低賃金の上昇は人材ビジネス業界にも暗い影を落とすとみられる。
	▲	求人情報誌（営業）	・周辺企業では人手不足からくる疲弊や閉塞感がみられるところが多く、打開策を見いだせずにいる企業が多いとみられる。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・公共料金などがますます値上がりし、特に地方では、賃金の増加では全く追いつかないとみられる。
	×	—	—